

中国少年先鋒隊

事業発展センター 青少年科学技術普及クラブ 概要

作成：大谷和正

【青少年科学技術普及クラブ】

中国少年科学技術普及クラブは、中国少年先鋒隊事業発展センターに所属する中国共産主義青年団中央委員会（略称、団中央）が創設した学校を主要サービス対象とした会員制の団体です。

本クラブは、『中華人民共和国科学技術普及法』に依拠し、中国科学技術省、教育省、中国共産党宣伝部、中国科学技術協会及び団中央が定めた『中国青少年科学技術普及活動指導綱要』の精神に則り、本クラブに入会した会員学校に対して校長を始めとする教師、生徒に対して全方位的なサービスを提供致します。

本クラブは現在、中国全土に1, 200校を超える小中学校会員を擁しています。これら全ての会員学校は2, 000名以上の生徒を有し、教育施設等が国の定める基準を遵守しています。

本クラブは会員学校に対して以下のサービスを提供しております。

- ・ 「手をつなごう」交流活動（学校間の科学普及教育の経験交流会）
- ・ 学校間における科学技術教育の表彰及び交流大会
- ・ 国内外における現場実習、視察活動
- ・ 海外留学、交換留学、友好学校の紹介、科学技術専門学校、教育訓練基地の事業運営
- ・ 科学技術関連の教師に対する教育訓練及び研修サービス
- ・ 課外授業（科学技術関連）及び指導員の派遣
- ・ 本クラブが主催する各種競技、発明コンペ、文章募集等の活動とそれに対して優秀な成績を修めた学校に対する表彰及び突出する成績を修めた生徒に対する表彰
- ・ 国内外の最新科学技術教育に関する情報の提供
- ・ 会員学校に対するロボット、模型飛行機、模型船舶、模型自動車、コンピュータ等クラスの設計及び設立支援
- ・ 機関紙の発行
- ・ 機関紙やホームページでの各種宣伝広報活動
- ・ 毎四半期に一回の国内会員活動、年に一回の国際交流活動を提供

本クラブの活動事例

- ・ 第三回 IROC ロボット国際コンテストへの参加
- ・ フランス、カナダ、韓国への留学
- ・ 全国の会員学校を対象とした科学技術教育大会及びその表彰
- ・ 英語、ロボット教育訓練の実施及び講師の派遣
- ・ 中国小中学生の海外サマースクールへの送出
- ・ 海外小中学生の中国サマースクールへの受入

以上

メモ

1. 中国共産主義青年団とは

トップの中央書記処第一書記は陸昊。1920年8月発足。翌年に発足する中国共産党の基盤を固めるために、下部組織として作られた。1925年の第3回全国代表大会で民主青年団、1949年4月中国新民主主義青年団と改称された後、1957年に現在の名称に決定される。団員数は7543万9000人（2007年末現在）。青年が共産主義を学習する学校として機能しており、実質中国共産党の予備軍である。直接中国共産党に入党することも可能であるが、将来共産党高級幹部を目指すためにはまず共青团に入団し、共産党に入党するのがエリートコースとされている。共青团が指導する下部組織として中国少年先鋒隊（少先隊）があり14歳以下の少年が所属している。

<出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』>

現在の胡錦濤国家主席も団中央出身で「団派」と呼ばれる一派を形成する勢力。

2. 全国少年児童軍事訓練基地

同クラブ責任者は、中国全土にある青少年・児童向けの軍事訓練基地の責任者を兼任している。同軍事訓練基地は北京では、周口店付近に設営され、総投資額1.5億元。

同軍事訓練基地では、「五自精神」（自学、自理、自護、自強、自律）を養う場として軍隊式の教育訓練を行っている。